

# 変更契約情報

請負人		(株)晃和工業 代表取締役 千葉 政武
工事(業務)名		西流下交4号中里4号準幹線(4工区)築造工事
変更前	原 請 負 金 額	66,150,000 円
	原契約締結年月日	平成 18 年 10 月 4 日
	工 期	平成 18 年 10 月 4 日から 平成 19 年 5 月 31 日まで
変更後	変更後請負金額	65,877,000 円 増(減)額 273,000 円
	変更契約締結年月日	平成 19 年 5 月 25 日
	工 期	平成 18 年 10 月 4 日から 平成 19 年 5 月 31 日まで
変 更 内 容		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 低耐荷力管推進工において、試掘結果及び現地精査による計画法線の変更に伴い、VPφ200mmの管路延長をL=240.60mから3.35m減工しL=237.25mに変更する。</li> <li>2. 開削工において、当地区の下水道事業の進捗を図るため、現地精査分とあわせてPRPφ200mmの管路延長をL=468.00mから17.05m増工しL=485.05mに変更する。</li> <li>3. 当該開削路線の下流部において、試掘の結果、砂質地盤となり湧水が多いことから、施工の安全性を考慮し、地下水低下のためウエルポイント工を計上する。</li> <li>4. マンホール工において、試掘の結果、地下埋設物が輻輳し管路埋設位置が狭隘な箇所があることから、小型マンホールを2箇所、楕円マンホールを1箇所増工し対処する。またそれに伴い1号マンホールを3箇所減工する。</li> <li>5. 上記4同様に、計画管路位置に管路を埋設できない箇所があることから、小型マンホールを4箇所増工し、計画法線を変更して対処する。</li> <li>6. φ200mm取付管工において、13箇所当初すべて開削工で計画したが、既設雨水函渠の下越し部分において地下水量が多く、開削工での施工が困難であることから、うち1箇所を取付管推進工にて施工する。</li> <li>7. 取付管およびます工において、地権者との立会いの結果、50箇所から6箇所減工し44箇所に変更する。</li> <li>8. 当該路線は私道の接続が多く、私道の下水道整備の際、当該路線に埋設されている水道本管からの水道布設替工事が伴うことから再度舗装版の撤去復旧が行われるため今回の工事では仮復旧のみ計上することとし、補助工区、単独工区合わせて本復旧A=2848㎡を減工する。</li> </ol>